

【第4学年 福祉体験 ～高齢者の方の気持ちになって～ 】

11月20日（金）山武市ボランティアセンターの方々をお迎えして、福祉体験を行いました。

車いす体験では、2人1組になって、車いすに乗る側と押す側と両方の立場を交代で体験しました。車いすの広げ方、足の乗せ方、ブレーキやハンドル操作、車いすのたたみ方等を丁寧に教えていただきました。

高齢者疑似体験では、ゴーグルで視野を狭め、肘、膝の関節をサポートで固定、手首足首に重りをつけ、最後に首からかけた装具を膝につなぎ、腰が曲がった状態を作りました。

身をもって体験することで、より自分の事として感じる事ができました。

体験後に児童が書いた感想やお礼の手紙には「自分のできることを進んでやっていきたい。」という想いがたくさん綴られていました。



車いす体験の前に、山武市ボランティアセンターの方々が車いすの扱い方や声のかけ方などを丁寧に説明してくださいました。有難うございました。

特に子どもたちが苦労したのは、坂道の上下りや方向転換でした。顔を真っ赤にして腰で車いすを押していました。





車いすの操作に苦戦しながらも「進みますよ。」「降りますよ。」と優しく声をかける姿がほほえましかったです。



服の脱ぎ着や小さい豆つまみ、商品のパッケージの小さい字を読むこと、落ちたカードを拾うことなどを体験しました。

子ども達から一番声が上がったのは、手足に付けたおもりを外した時です。「天使になったみたいに軽い。」とつぶやく児童もいました。

